

中井博幸の市議会報告



平成30年12月議会 (第34号)

風しんの流行を抑えるために**予防接種**を受けましょう
箕面市では、風しんの予防接種の対象者を大幅に拡充します

風しん(三日はしか)って何？

風しんウイルスによって引き起こされる発疹性疾患です。典型的な症状として、発熱、発疹、リンパ節の腫脹があります。不顕性感染が多く、症状も比較的軽いことから見過ごされがち



な疾患ですが、妊娠初期の女性に感染すると、胎児に高い確率で『先天性風しん症候群』を引き起こす事が知られており、注意が必要です。日本では平成25年の流行以来減少していましたが、**今年は再び大流行しています。**

箕面市が行っている現行制度

現在、箕面市では大阪府の制度に従い予防接種事業を展開しています。風しんに対する妊婦の不安を和らげるために、妊娠を希望する女性や、妊婦とその配偶者に対し風しんの予防接種に掛かる費用に対し6,000円を上限として助成する制度を設けています。予防接種の助成は風しんの抗体を持っていない人に限られるため、まずは保健所や、医療機関(町



のお医者さん等)で抗体検査を受けていただき、検査後発行される抗体が不十分という証明書が必要になります。抗体検査は保健所(近隣では池田保健所)で月2回、各回20名の定員で実施される無料検査を受けるか、5000円程度の実費を支払い医療機関で受けなければなりません。このため、箕面市でこの制度による予防接種を受けた人は、4月1日から、わずか55名にとどまっています。

市は、風しんの流行を受け独自に予防接種事業の拡充案を発表

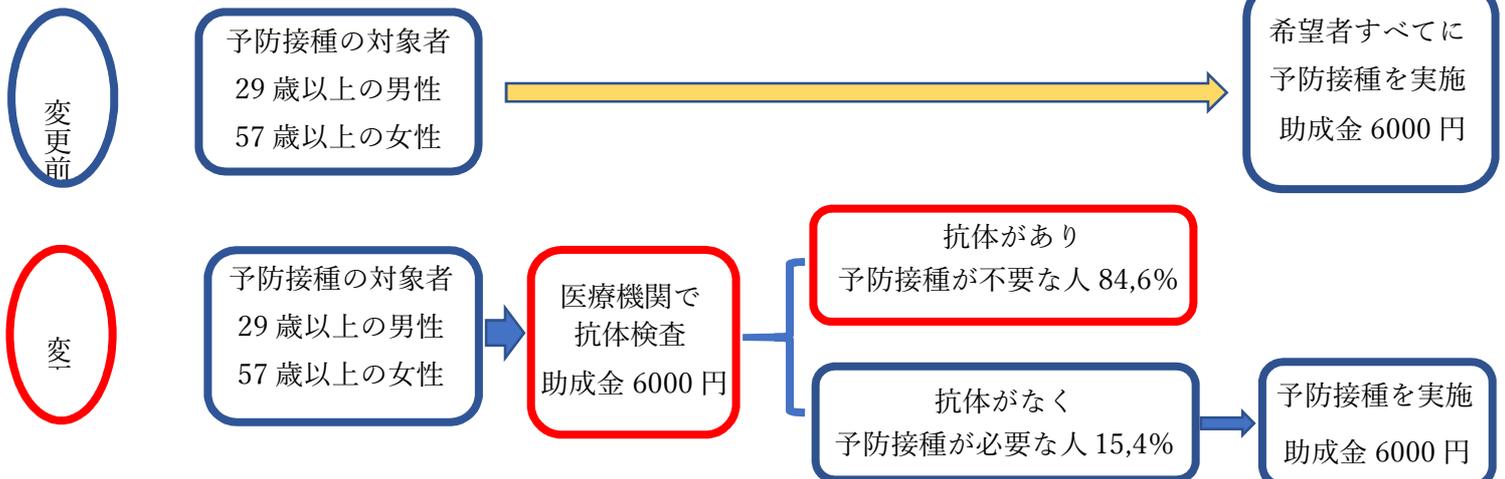
11月15日、箕面市は胎児を先天性風しん症候群から守るために、風しんの予防接種の拡充案を12月議会に提出することをプレス発表しました。補正予算案として提出された事業内容は、①予防接種の対象者を平成2年

4月1日以前生まれの男性、昭和37年4月1日以前生まれの女性に広げる。②風しんの抗体検査を省略し、希望者全員に予防接種を行い、接種費用に対し6000円を上限に助成するという箕面市独自の制度です。

予算案は全会一致で可決。事業内容は市側が一部修正を加えた

予算案では、500人分の予防接種を見込んでいました。ところが、全国的な風しんの流行を受けワクチンの在庫が少なく、箕面市で数十人分しか準備できないことが判明しました。ワクチンを有効活用するために抗体検査の

費用にも上限6,000円の助成を行い、その結果、予防接種が必要とされた人や、医療機関が特別な理由があると認めた人に対し、予防接種の費用にも上限6,000円の助成を行う方式に変更しました。



一 般 質 問

12月議会での一般質問は風しんワクチンの予防接種を取り上げました。民生常任委員会で風しんワクチンの備蓄が少ないことから、抗体検査を省略する方式では、あまりにも非効率であることを指摘し、事業の見直しを求めました。委員会後も見直しを求め、話し合いを続けていました。国も風しんの流行を抑えるために、来年度から、抗体検査を受けた後、必要な人にだけ



無料で予防接種を行うことに加え、抗体検査も無料で実施することを発表したことから、改めて一般質問で見直しを求めた結果、前述の変更案になりました。今後は、風しんの流行を抑えるために、風しんの予防接種を受けることの大切さを広く市民に訴え、一人でも多くの人予防接種を受けていただくために、市が広報に注力することを改めて要望しました

箕面駅前ロータリーに花時計を設置しよう



9月議会の一般質問で箕面駅前ロータリーを取り上げました

← これって、あまりにも**殺風景**だと思いませんか？

樹林舎『箕面市の昭和』から引用



ちなみに、昭和60年頃はこんな感じでした
噴水があり**華やか**でしたが、撤去されました



『駅前ロータリーを箕面市の玄関にふさわしく**華やかに**』

したくて、花時計プロジェクトを立ち上げたい

と思っているのですが、……………

まだまだ、**夢物語**です

箕面市政に関することは箕面市議会議員 **中井博幸** にご相談ください
住所 箕面市桜4-7-28 電話 721-3230 Fax 722-8582